

第 126 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 2024 年 12 月 9 日（月）
- 2 開催場所 魚とし
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 5 人
 - 出席委員の氏名（敬称略）
風間隆之 / 風間まり子 / 佐藤正幸 / 吉井照雄
吉村巳之
 - 欠席委員の氏名（敬称略）
相京恵 / 今井陽子 / 小澤健一 / 清水一希
高井俊一郎 / 富田充慶 / 竹中隆 / 田中美由紀
 - ラジオ高崎 3 人
 - 代表取締役 大山駿作
 - 専務執行役員 関口高史
 - 執行役員放送局長 田野内明美
- 4 議題 特別番組 飲酒運転ゼロへの誓い
ラジオドラマ「冷めたと思いこんだ一瞬の代償」
- 5 議事の概要（別紙）
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 2025 年 2 月 23 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役大山駿作より挨拶。
- ・執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。

- 防災 RADIO (9/21、9/22、9/25)
- 群馬グリーンウイングス トップリーグへの挑戦 (9/30、10/11、10/13)
- 高崎パスタ特別番組 Bon Appétit! (9/19、10/22、10/27)
- T-Shot シリーズ vol.13 前田妃奈 ヴァイオリン・リサイタル (再放送 11/20)
- 群馬グリーンウイングス トップリーグへの挑戦 第2段 (11/25、12/6、12/15)
- 林家つる子 つるつる 60分 (11/23、11/27、12/8)
- 飲酒運転ゼロへの誓い (12/1～12/10)
- T-Shot シリーズ vol.14 清水怜 フルート・リサイタル (12/4)

今後放送予定の特別番組

- クリスマス特番 One from the Heart <<TAKASAKI>> (12/24)

ラジオ高崎主催事業

- 女性のためのかんたんマネーセミナー (11/9 ①11時30分 ②14時30分)

※審議対象

【素材名】特別番組 飲酒運転ゼロへの誓い

ラジオドラマ「冷めたと思いこんだ一瞬の代償」

【内 容】12月はお酒を飲む機会が増える時期です。本番組は「飲酒運転撲滅」をテーマに、飲酒運転がもたらす悲劇をラジオドラマに仕立て放送しました。飲酒運転には自分の人生を賭けるほどの価値があるのか、飲酒運転の本当の恐ろしさを伝える特別番組です。

【放送日】2024年12月1日(日)～2024年12月10日(火)

- ・番組説明とOA素材試聴のあと、広く意見を求めた。

委員各位の意見

特別番組 飲酒運転ゼロへの誓い

ラジオドラマ「冷めたと思いこんだ一瞬の代償」について

○色々なことをだらだら解説するより、今回のように寸劇の方が聴きやすく、心に残ると思った。不幸なまま終わるのではなく、「実は夢だった」というラストも良かった。自分も気を付けたい。

○自転車（二輪）事故を題材にしたラジオドラマを製作してほしい。

○もしまたラジオドラマをつくるなら、中学校や高校の演劇部や放送部、市内の小学生や保育園児などにも出演を依頼してみてもどうか。

○今後もラジオドラマをシリーズ化して行ってほしい。

（事務局）年4回の交通安全運動には、落語やクイズ、また専門家の話を聞くなど、既に定番化した企画がいくつかあるが、ラジオドラマも定番化できるよう検討していきたい。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

○イベントなどの周知が行きわたっていないと感じた。先日も高崎で世界空手道選手権大会があったが、市街地の飲食店はほとんど知らず、大勢の外国人が来店して対応が大変だったと聞いた。イベントの周知について、もう少し工夫できるのでは。

○子供がラジオ高崎で職業体験したことがきっかけとなり、それ以来ずっとラジオ高崎を聴いている知人がいる。きっかけさえあれば継続して聴いてくれることもあるので、子供（学生含む）が出演する番組を増やしてはどうか。

○各中学校の生徒が出演する番組があったが、またやってみてはどうか。

（事務局）高崎市のいじめ防止プログラムに基づいて各中学校でどのような取り組みをしているかを話してもらった番組で、子供たちにとってもとてもよい経験だったと聞いている。そこで今は、職業体験で来てくれた中学生に番組制作や番組出演を体験してもらっている。また、見学を希望するご家族が多いので、ご家族が見学しやすい夕方の番組に出演してもらった。

○広報高崎を保管して読み返す人はそうそういないので、高崎市の情報やイベントの告知に関しては、広報誌が月 1 回に減ったことを意識しながら告知してほしい。また、広報だけではカバーしきれないところも、ローカル放送として、小さな情報やイベントでも紹介してほしい。

○特別番組等の案内を放送日近くにメールでお知らせしてもらえないだろうか。聞き逃しも回避できるし、番組審議会でももっと色々な話ができると思う。

以上